

# 社協だより

 社会福祉法人 河津町社会福祉協議会

発行日 平成27年9月16日

賀茂郡河津町田中212-2  
河津町保健福祉センター内

TEL 0558-34-1286

FAX 0558-34-1312

Mail: csw-kawazu@po3.across.or.jp

ホームページアドレス

<http://www.shakyo.or.jp/hp/1010/>

10月1日より共同募金運動が始まります。

皆様のご理解とご協力をお願い致します。



「バルちゃん」  
©S-PULSE

「ジュビロくん」  
©JUBILO IWATA

心ひとつに。

赤い羽根共同募金

清水エスパルスとジュビロ磐田は、  
赤い羽根共同募金を応援します。



災害による被災者支援  
「災害ボランティア活動」  
河津町社会福祉協議会

障がい者の外出を支援  
「車いす対応福祉車両」  
（河津町・河津町福祉車両など）

子どもたちの命のために  
「幼児用の防災頭巾」  
（河津町・つくし保育園）

## 赤い羽根共同募金

社会福祉法人 静岡県共同募金会



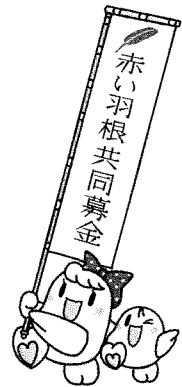
## 平成27年度、河津町共同募金委員会の目標金額は2,332,000円です。

(内訳：赤い羽根募金 1,223,000円、歳末たすけあい募金 1,109,000円)

赤い羽根募金は、町内で募金頂いた総額の約70%が平成28年度に河津町に配分されます。また、歳末たすけあい募金では募金のほぼ全額（平成28年度の事務費を除いて）が、平成27年度中に配分され下記の事業を行うのに役立っています。同じ町に住む人々の為に使われる募金なので、スローガンは「じぶんのまちをよくするしくみ」（全国で統一されています）とし、募金活動の推進をしてまいります。

### 平成27年度赤い羽根募金の助成事業（平成26年度の募金をもとに行います）

- ① 老人福祉活動・・・ひとり暮らし高齢者昼食交流会（年5回）、バス遠足、男性料理教室（年2回）の開催
- ② 障害児・者福祉活動・・・障害者社会学級の開催（年3回）
- ③ 母子父子活動費・・・ひとり親家庭バス遠足の実施
- ④ 福祉育成・援助活動費・・・小中学校への福祉教育フォローアップ事業（助成金）
- ⑤ ボランティア活動育成事業・・・中学生ボランティア講座、ボランティアグループの交流研修



あい 愛ちゃん と きぼう 希望くん  
©中央共同募金会

### 平成27年度歳末たすけあい募金の助成事業

（平成27年度歳末たすけあい募金をもとに行います）

- ① 低所得世帯への援護金の贈呈
- ② 障害者への援護金の贈呈
- ③ ひとり親家庭の子ども達へお年玉の贈呈
- ④ ひとりで正月を迎える高齢者世帯への特別給食サービス（おせち、年越しそば）の配布

平成27年度の共同募金運動の実施にあたり、下記のとおり募金を呼びかけて参りますので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

- 戸別募金・・・町内の全世帯を対象に、行政連絡委員（区長）さんを通じて、ご協力をお願いしています。
- 法人募金・・・町内の事業所（法人等）に地区民生委員児童委員さんに訪問して頂き、ご協力をお願いしています。
- 街頭募金・・・10月25日（日）開催の河津ふれあいまつり会場にて実施する予定です。
- 学校募金・・・町内の小学校、中学校の児童・生徒の皆さんにご協力をお願いしています。
- 職域募金・・・町内の事業所に募金箱等を設置して頂き、職員の皆様にご協力をお願いしています。
- 窓口募金・・・社会福祉協議会の窓口で受け付ける他、河津町役場庁舎、踊り子温泉会館、河津町立文化の家、河津桜観光交流館などに募金箱の設置を予定しております。

## 障害者バス遠足を実施しました。

河津町社会福祉協議会では、町内に在住の障害者の方々を対象に、「社会学級」を開催しています。7月はバス遠足として、神奈川県にある新江の島水族館と、雪印メグミルク海老名工場を見学してきました。

当日は、午前中は雨がぱらつく時もありましたが、午後は天気にも恵まれました。最初に訪れた「新江の島水族館」では、平日にも関わらずお客さんが多く、足の不自由な方や車椅子の方の移動に苦労しました。館内では、イルカやペンギンのショーの時間を調べて見る方もいれば、クラゲの水槽や、湘南の海を再現した大水槽などをゆっくり見てまわる方もいました。

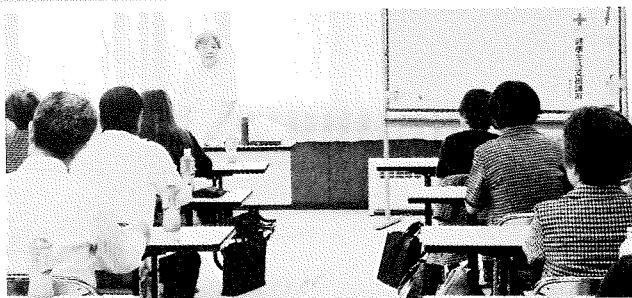
午後には訪れた雪印メグミルク海老名工場では、主に牛乳や、乳飲料などを製造しているそうです。見学コースもバリアフリーになっており、社員の方の丁寧な説明を聞きながら、製造ラインを見学しました。工場の大さきの割に作業をする方が少なかったのですが、全てコンピュータで管理をしているとのことでした。



雪印メグミルク海老名工場にて。工場見学後に牛乳の試飲をしました。

## 介助される方の気持ちになって

河津町民生委員児童委員協議会（会長 菊池利定）では、このほど部会研修として日本赤十字社静岡県支部から講師を招き、健康生活支援講習を実施しました。テーマは、日常生活における介護の「食事と排泄」です。前半はテキストを使った講義、後半はプリンやヨーグルトを使った食事介助、ベッドからポータブルトイレへの移乗介助などを行いました。民生委員児童委員は二人一組となって、介助する側と介助される側に別れて実技を行いました。食事介助の際には、椅子やベッド上での姿勢を整えて飲み込みやすくすることや、きちんと飲み込んだことを確認してから次の介助を行うといったタイミングなど、注意する点を学びました。今回の講習で、介助される方への理解をさらに深めて頂けたものと思います。



前半の講義の様子



ベッドからポータブルトイレへの移乗を説明する、講師の木村さん

## 夏休みの思い出づくり

河津町社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金と地域福祉基金からの助成を得て、ひとり親家庭支援事業を行っています。7月には、民生委員児童委員を通じて対象となる世帯（中学生以下のお子さんがいるひとり親家庭）に、図書カードとバス遠足の案内を配布しました。

今回、バス遠足に申し込まれた14世帯39名を対象に、8月21日に東京ディズニーランドを訪れました。河津町内の出発は朝5時半という早朝にもかかわらず、子ども達は元氣一杯でバスに乗り込みました。途中、お菓子の差し入れをもらい、DVDを観賞しているうちに、ディズニーランドに到着です。バスが着くやいなや、保護者をせかし向かうお子さんも居ました。

滞在時間は7時間程度でしたが、お目当てのアトラクションに乗ったり、夏休み限定のパレードの観賞や、お気に入りのキャラクターを見つけて写真撮影したりなど、充実した時間を過ごしたようです。



バスを降りてディズニーランドに向かう参加者

## 自力歩行を助ける歩行支援機

### ACCSIVEの体験

ちょうど1年程前に、TBSの番組「夢の扉+（プラス）」で、歩行支援機ACCSIVE（アクシブ）が紹介されました。これは、名古屋工業大学の佐野明人教授と、（株）今仙技術研究所が共同で開発し、モーターもバッテリーも使用せず、重力とバネの力だけで歩行をサポートするという、重さ540グラムの歩行支援機です。この度、保健福祉センターで拝見することができました。

この夢のような機械で、下肢の筋力の弱った方の歩行が少しでもスムーズになるといいですね。



歩行支援機を装着する様子

## 生活相談室の開催日のご案内

河津町社会福祉協議会では、下記の日程で生活相談室を開催しています。日常生活のなかでの悩み事、困り事などがありましたら、生活相談室をご利用下さい。相談員がお話を伺い、問題解決に向けてのお手伝いをさせていただきます。

会場：河津町保健福祉センター 他  
時間：午前10時～午後3時



H27年10月	7日(水)	21日(水)
11月	4日(水)	18日(水)
12月	2日(水)	16日(水)
H28年1月		20日(水)
2月	3日(水)	17日(水)
3月	2日(水)	16日(水)

※10月7日、12月2日は役場2階第2会議室となります。また、行政相談、人権相談も併設しています。

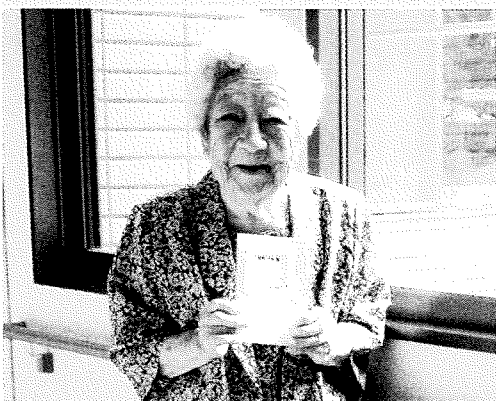
お問合せ先：河津町社会福祉協議会  
電話：34-1286

## 中学生職業体験の受け入れについて

河津町デイサービスセンターでは、今年度も、中学生の職業体験の受け入れを行いました。午前中は、ぬり絵やカレンダー製作の手伝い、入浴後の利用者さんの見守りや髪の毛を乾かすなどの介護をしてもらいました。午後は、一緒に体操やレクリエーションに参加し、ゲームを盛り上げてくれました。利用者さんから拍手され、緊張していた顔も徐々に笑顔が見られるようになりました。なかには、中学生の一生懸命な様子を、まるでお孫さんのことのように見守る方もおり、最終日には「淋しくなるね」、「また来てね」の声や、涙ぐまれる方も居ました。中学生の皆さん、ありがとうございました。



100歳の誕生日を  
みんなで祝いしました。



100歳になられた鈴木きぬさん  
おめでとうございます

笹原にお住まいの鈴木きぬさん（大正4年8月15日生まれ）が、100歳の誕生日を迎えられるにあたり、デイサービスの利用者の皆さんとともにお祝い会を行いました。

当日は、おしゃれなワンピースを用意してきたきぬさん、お祝いの前に着替えをして準備完了です。デイサービスの仲間からは、一人一人、お祝いの言葉が贈られ、最後はハッピーバースデーの歌を合唱して締めくくりました。

100歳をひとつの目標にこの1年を過ごしてきたきぬさん、職員から今後の目標はと聞かれると、「これからも頑張ります」と答えていました。身体に気がついていつまでもお元気にお過ごし下さい。

## 地域福祉基金へのご寄付をありがとうございました

(平成27年8月受付分)

近藤孝光様

100,000円

河津町社会福祉協議会や社協だよりに対するご意見などありましたら、お聞かせ下さい。

河津町社会福祉協議会

住所：賀茂郡河津町田中212-2

電話：0558-34-1286 FAX：0558-34-1312

Mail：csw-kawazu@po3.across.or.jp



## 編集後記

今年の夏は、例年以上の猛暑で、身体を動かすだけで汗が噴き出してくるような毎日でした。全国でも熱中症で病院に搬送される方が多く、連日のように報道されていました。8月下旬からようやく涼しさを感じていますが、油断は禁物だそうです。秋は運動会や地域のお祭りなど、行事も増える時期です。また、日中、農作業などで身体を動かすことが多い方も、適度な休憩と水分補給を忘れずになさってください。

(M)